

令和3年度 第20回教育研究審議会議事概要

日時 令和4年3月2日(水) 午後4時00分～午後7時00分

場所 本部棟 3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長(兼)キャリア支援センター長、齊藤浩稔事務局長、小林重雄理事、春日由香学長補佐、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐(兼)保健センター長、加藤敦子図書館長(兼)語学教育センター長、日向良和情報センター長(兼)共通教育センター長、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、野中潤国文学科長、三浦幸子英文学科長、佐藤裕比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、宮下洋一総務課長、小澤初美経営企画課長、久保田昌宏学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 令和4年度公立大学法人都留文科大学年度計画(案)について

○委員から資料1に基づき説明。→提案どおり承認。

(2) 専任教員の採用について(教職支援センター・教育とICT)

○委員Aから資料2に基づき説明。

(委員B)

ICT関連について、文部科学省が提示した内容と今回の採用者は合致しているか。

(委員A)

問題なく合致しているもの。また、すでに市内の小中学校の教員とは信頼関係が築けているため、市内の小中学校にも貢献することができる。

(委員B)

今回の教員選考委員会にICTを専門としている先生が入っていない理由は。

(委員C)

教育分野をメインに構成員を選定したため。

→提案どおり承認(2週間の閲覧期間を設け、令和4年3月16日投開票)。

(3) 特任教員(Bタイプ)の採用について(教職支援センター・教育フィールド研究)

○委員から資料3に基づき説明。

→提案どおり承認(2週間の閲覧期間を設け、令和4年3月16日投開票)。

(4) 専任教員の昇任について(比較文化学科)

○委員から資料4に基づき説明。

→指摘事項を修正し、提案どおり承認(2週間の閲覧期間を設け、令和4年3月16日投開票)。

(5) 専任教員の昇任について(語学教育センター)

○委員から資料5に基づき説明。

→提案どおり承認(2週間の閲覧期間を設け、令和4年3月16日投開票)。

(6) 専任教員の昇任について（共通教育センター）

○委員から資料6に基づき説明。

→提案どおり承認（2週間の閲覧期間を設け、令和4年3月16日投開票）。

(7) 特任教員の昇任について（教職支援センター）

○委員から資料7に基づき説明。

→提案どおり承認（2週間の閲覧期間を設け、令和4年3月16日投開票）。

(8) 特任教員（Bタイプ）の任期更新について（語学教育センター、2件）

○委員から資料8-1、8-2に基づき説明。

→指摘事項を修正し、提案どおり承認。

(9) 特任教員（Bタイプ）の任期更新について（国際交流センター）

○委員Aから資料9に基づき説明。

（委員B）

大学運営上の業務が細かく書かれているが、それ以外の業務については。

（委員A）

それ以外の教育研究活動に資する事業についても従事する。

→指摘事項を修正し、提案どおり承認。

(10) 特任教員（Cタイプ）の任期更新について（学校教育学科）

○委員から資料10に基づき説明。

→指摘事項を修正し、提案どおり承認。

(11) 特任教員（Cタイプ）の任期更新について（地域交流研究センター）

○委員から資料11に基づき説明。→提案どおり承認。

(12) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案（英文学科、2件）

○委員から資料12-1、12-2に基づき説明。

→指摘事項を修正し、提案どおり承認。

(13) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案（比較文化学科）

○委員から資料13に基づき説明。→提案どおり承認。

(14) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案（語学教育センター）

○委員から資料14に基づき説明。

（委員A）

ランクについてはいかがなものか。

（委員B）

母語と母国語の違いについても考慮する必要がある。

（委員C）

報酬の関係であり、規程改正も含めての話になるため、この場ですぐに決めることは出来ない。今回は、教育研究審議会でこのような話があったことは承知した。

→提案どおり承認。

(15) 交換留学生選考における応募条件の見直しについて

○委員 A から資料 15 に基づき説明。

(委員 B)

語学要件のところでは修正前に IELTS や TOEFL とあるが、見直し後に入っていない大学がある。

(委員 A)

主流は IELTS になっているが、TOEFL も入れたいと思う。

(委員 C)

GPA とは H 評価も含んだ内容か。

(委員 A)

本学のシステム上、H 評価も含んだ内容となっている。

(委員 D)

留学用の GPA だけ H 評価を除いた GPA となると、学生が留学用の GPA をどう把握するのが課題となる（自分が申し込んで良いのかわからなくなる。学生にどう伝えるか）。

(委員 E)

教務委員会でも話が上がったが、留学用の GPA は H 評価を除いたものとし、全学的な GPA は今後検討としたい。

→・修正後の語学要件に TOEFL を加え

・ GPA は H 評価を除いた GPA とし

・ 指摘事項を修正

した上で承認。

(16) TISP 2022 Spring プログラム、およびアジア圏交換留学生受入について

○委員から資料 16 に基づき説明。→提案どおり承認。

(17) 2022 年度前期の北欧交換留学生受け入れについて

○委員から資料 17 に基づき説明。→提案どおり承認。

(18) 令和 3 年度開講科目について (TISP)

○委員から資料 18 に基づき説明。→提案どおり承認。

(19) 令和 3 年度非常勤講師の授業担当科目について (取消_第 16 回)

○委員から資料 19 に基づき説明。→提案どおり承認。

(20) 令和 4 年度開講科目について (教職科目)

○委員から資料 20 に基づき説明。→提案どおり承認。

(21) 令和 4 年度非常勤講師授業担当科目について (継続_第 16・17 回)

○委員から資料 21 に基づき説明。→提案どおり承認。

(22) 令和 4 年度非常勤講師授業担当科目について (取消_第 11・12 回)

○委員から資料 22 に基づき説明。→提案どおり承認。

(23) 都留文科大学学部履修規程の一部を改正する規程(案)について

○委員から資料 23 に基づき説明。→提案どおり承認。

3 報 告

(1) 専任教員の昇任について（学校教育学科）

○委員から口頭にて対象外であった旨の説明。

(2) 地域交流研究センター協力研究員の委嘱について

○委員から資料 24 に基づき説明。

4 閉 会

以 上